

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成22年10月7日(2010.10.7)

【公表番号】特表2010-502634(P2010-502634A)

【公表日】平成22年1月28日(2010.1.28)

【年通号数】公開・登録公報2010-004

【出願番号】特願2009-526819(P2009-526819)

【国際特許分類】

A 6 1 K 47/32 (2006.01)

A 6 1 P 27/02 (2006.01)

A 6 1 K 47/10 (2006.01)

A 6 1 K 47/38 (2006.01)

A 6 1 K 9/08 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 47/32

A 6 1 P 27/02

A 6 1 K 47/10

A 6 1 K 47/38

A 6 1 K 9/08

【手続補正書】

【提出日】平成22年8月18日(2010.8.18)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ポリアクリル酸、ポリメタクリル酸、並びにメタクリル酸、 -メチルアクリル酸（クロトン酸）、シス- -メチルクロトン酸（アンゲリカ酸）、トランス- -メチルクロトン酸（チグリン酸）、 -ブチルクロトン酸、 -フェニルアクリル酸、 -ベンジルアクリル酸、 -シクロヘキシルアクリル酸、 -フェニルアクリル酸（ケイ皮酸）、クマル酸（o-ヒドロキシケイ皮酸）及びウンベル酸（p-ヒドロキシクマル酸）のポリマーからなる群から選択されたポリマーの溶液を含む眼科用組成物であって、容量オスモル濃度が200～260mOsm/kgであり、pHが6.5～7.5であり、かつ目に不快感を生じさせる保存剤を含まない眼科用組成物。

【請求項 2】

前記ポリマーが多官能性架橋剤によってわずかに架橋されている、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 3】

前記ポリマーが0.01～5質量%含まれる、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 4】

前記ポリマーがポリアクリル酸を含む、請求項 3 に記載の組成物。

【請求項 5】

水溶液を含む、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 6】

粘性率調節化合物をさらに含む、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 7】

前記粘性率調節化合物が、グリセロール、プロピレングリコール、ポリオール、セルロース誘導体、ならびにこれらの組み合わせからなる群から選択される、請求項 6 に記載の組成物。

【請求項 8】

粘性率調節化合物をさらに含む、請求項 2 に記載の組成物。

【請求項 9】

抗アレルギー剤、抗炎症剤、抗感染剤、ならびにこれらの組み合わせからなる群から選択された活性成分をさらに含む、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 10】

抗アレルギー剤、抗炎症剤、抗感染剤、ならびにこれらの組み合わせからなる群から選択された活性成分をさらに含む、請求項 6 に記載の組成物。

【請求項 11】

ポリアクリル酸、ポリメタクリル酸、並びにメタクリル酸、 α -メチルアクリル酸（クロトン酸）、シス- α -メチルクロトン酸（アンゲリカ酸）、トランス- α -メチルクロトン酸（チグリン酸）、 β -ブチルクロトン酸、 α -フェニルアクリル酸、 α -ベンジルアクリル酸、 α -シクロヘキシルアクリル酸、 α -フェニルアクリル酸（ケイ皮酸）、クマル酸（*o*-ヒドロキシケイ皮酸）及びウンベル酸（*p*-ヒドロキシクマル酸）のポリマーからなる群から選択されたポリマーの溶液を、目の不快感の軽減に十分な量で含む、目の不快感を軽減するための組成物であって、容量オスモル濃度が200～260mOsm/kgであり、pHが6.5～7.5であり、かつ目に不快感を生じさせる保存剤を含まない、組成物。

【請求項 12】

前記ポリマーが0.01～5質量%含まれる、請求項 11 に記載の組成物。

【請求項 13】

前記ポリマーがポリアクリル酸を含む、請求項 12 に記載の組成物。

【請求項 14】

粘性率調節化合物をさらに含む、請求項 11 に記載の組成物。

【請求項 15】

前記粘性率調節化合物が、グリセロール、プロピレングリコール、ポリオール、セルロース誘導体、ならびにこれらの組み合わせからなる群から選択される、請求項 14 に記載の組成物。

【請求項 16】

ポリアクリル酸、ポリメタクリル酸、並びにメタクリル酸、 α -メチルアクリル酸（クロトン酸）、シス- α -メチルクロトン酸（アンゲリカ酸）、トランス- α -メチルクロトン酸（チグリン酸）、 β -ブチルクロトン酸、 α -フェニルアクリル酸、 α -ベンジルアクリル酸、 α -シクロヘキシルアクリル酸、 α -フェニルアクリル酸（ケイ皮酸）、クマル酸（*o*-ヒドロキシケイ皮酸）及びウンベル酸（*p*-ヒドロキシクマル酸）のポリマーからなる群から選択されたポリマーを薬理的に許容可能な基剤と組み合わせる工程を含む、目の不快感を軽減できる組成物を製造する方法であって、該組成物は溶液であり、容量オスモル濃度が200～260mOsm/kgであり、pHが6.5～7.5であり、かつ目に不快感を生じさせる保存剤を含まない組成物の製造方法。

【請求項 17】

前記ポリマーが0.01～5質量%含まれる、請求項 16 に記載の方法。

【請求項 18】

前記ポリマーがポリアクリル酸を含む、請求項 17 に記載の方法。

【請求項 19】

前記組成物の中に粘性率調節化合物を含める操作をさらに含む、請求項 16 に記載の方法。

【請求項 20】

前記粘性率調節化合物が、グリセロール、プロピレングリコール、ポリオール、セルロース誘導体、ならびにこれらの組み合わせからなる群から選択される、請求項 19 に記載

の方法。